



令和6年1月31日
垂井町立宮代こども園

寒い日の朝、「先生見てー！」とやって来た子どもたちの手のひらに、霜柱が乗っていました。「ほら、氷のギザギザ、あっちにあったよ」「踏むとバリバリっていうんだよ」と教えてくれました。園庭の隅から隅まで霜柱を探して歩き、見つけたら足で踏んで音や感触を楽しんでいた子どもたち。これからも冬ならではの遊びをたくさん楽しんでいきたいと思えます。

凧揚げをしたよ



園庭で凧揚げを楽しんでいます。ビニール袋にマジックで絵を描いて作った凧を持ち、手を思い切り伸ばして園庭を走ります。最初はうまく揚がらず、すぐ地面についていましたが、「いっぱい走るとうまくできるよ」「じゃあ、やってみよう」と友だちと何度も繰り返し挑戦する子どもたち。凧が揚がるとあちこちから歓声があがりました。また、「いっぱい走ったら暑くなってきた」「汗かいたなあ」と寒くても体を思いきり動かすと体が温まるということにも気がついた子どもたちです。

不破高等学校3年生との交流

絵本の読み聞かせ



こま回し



せーので回そう



手作りおもちゃ



お兄さん大好き！また遊ぼうね。

12月から1月にかけて、不破高等学校の3年生の生徒さんが保育実習で来園し、子どもたちと交流をしました。絵本の読み聞かせをしてもらったり、お兄さん、お姉さんが作ったおもちゃで遊んだりして楽しい時間を過ごしました。

交流を重ねるごとにお兄さん、お姉さんと仲良しになった子どもたち。見送りの際は、「また来てね。」「また遊ぼうね。」といつまでも手を振っていました。